

あいち農産物生産流通レポート

平成30年4月号

	ページ
◎ 情報サロン	
・ ふるさとの食にっぽんの食フェスティバル2018が開催	(東京事務所) 1
◎ 東日本情報	
・ 春野菜の今後の動向について	(東京事務所) 2
◎ 西日本情報	
・ 県内外における需要拡大の取組について	(食育消費流通課) 4
・ 「FOODEX JAPAN 2018」に出展しました	(食育消費流通課) 6
◎ フラワーページ	
・ 大田市場で3県合同のカラー販売セールスを実施	(東京事務所) 8
◎ 青果	
・ 愛知産青果物の動向(名古屋・東京市場)	9
・ 名古屋・東京市場における青果物の4月の見通し	10
◎ 花き	
・ 切り花・鉢花の4月の見通し(県内市場)	22

内容についての問合せ先

愛知県農林水産部食育消費流通課

(052)-954-6434

愛知県東京事務所行政課農産物プロモーショングループ

(03)-5492-5400

平成29年4月号から、「全国における主要農産物の輸出入実績」、「関連指数」のページはなくなりました。それぞれの情報につきましては、

【輸出入実績】

農林水産省ホームページ内「農林水産物輸出入統計」

<http://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/kokusai/index.html>

【消費者物価指数】

全 国：総務省統計局ホームページ内「消費者物価指数月報」

<http://www.stat.go.jp/data/cpi/>

名古屋：愛知県県民生活部「名古屋市消費者物価指数」

<http://www.pref.aichi.jp/soshiki/toukei/bukka.html>

【農業物価指数】

農林水産省大臣官房統計部「農業物価統計調査」

<http://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/noubukka/>

【名古屋市小売価格】

総務省統計局「小売物価統計調査」

http://www.e-stat.go.jp/SG1/estat/GL08020101.do?_toGL08020101_

を御覧ください。

ふるさとの食にっぽんの食フェスティバル 2018 が開催

東京事務所行政課農産物プロモーショングループ

3月10日(土)から11日(日)の2日間にかけて、代々木公園とNHK放送センター(東京都渋谷区)で「ふるさとの食にっぽんの食 全国フェスティバル」が開催されました。

1 全国各地の食材や郷土料理などを紹介

このイベントは、JA全中やNHK等で構成される「ふるさとの食にっぽんの食」全国実行委員会及び都道府県実行委員会が主催したイベントで、全国各地のJAや全農県本部がブース出展し、農産物や加工品を販売しました。

このほか会場では、農林漁業体験や食育に関するワークショップ、食をテーマとしたトークイベントが開催されたほか、全国各地の郷土料理を販売するフードコートが設けられるなど、食と農林水産業の魅力を広く紹介するイベントとなりました。



会場の様子

2 JA豊橋、JA愛知みなみが出展

メイン会場の一つであるお買い物ゾーンには、本県からJA豊橋及びJA愛知みなみがブース出展し、農産物を販売しました。

JA豊橋は、第47回日本農業賞(主催:JA全中、JA都道府県中央会、NHK)でトマト部会が大賞を受賞したことを受け、「日本農業賞ブース」での出展となりました。ブースでは同JAの高糖度トマトが販売されたほか、キャベツやカラー系ミニトマト、スナップえんどうなどの展示がされました。

JA愛知みなみブースでは、出荷盛期を迎えるミニトマトやキャベツ、洋菜などが販売され、多くの来場者が購入していく様子が見られました。



日本農業賞ブース (JA豊橋)

イベントが開催された3月10日(土)、11日(日)ともに好天に恵まれたこともあり、会場は家族連れを中心に多くの来場者で賑わいました。このような機会を通じて、本県産農産物の知名度が向上することを期待したいと思います。

春野菜の今後の動向について

東京事務所行政課農産物プロモーショングループ

平成30年の東京都中央卸売市場における野菜販売情勢は、前年秋の天候不順や今冬の低温・乾燥などの影響により、1、2月は入荷量が大きく減少し、例年になく高値相場となりました。一方、3月に入ってから急激な入荷増と高値反動により価格は下落を始めました。

そこで今回は、春野菜を中心に今後の動向を紹介します。

1 これまでの生育状況と入荷ピーク予想

前年の秋以降に播種または定植し、冬を越して、春に収穫を迎える春野菜は、今冬の異常ともいえる低温と乾燥の影響を大きく受けました。このため2月頃には多くの品目で、1～3週間の生育遅れや小玉傾向が見られました。

しかし3月以降の急激な温度上昇と好天、適度な雨により、遅れていた生育は解消に向かいつつあります。とはいえ、春キャベツでは、平年4月上旬の出荷ピークが中下旬へ後退するなど、春野菜のピークのずれこみが予想されます。また、出荷の遅れている荷が産地に留まっており、気温上昇に伴い市場に入荷が集中する懸念も残っています。

2 野菜の販売見通し

キャベツを始めとした多くの冬野菜では、入荷が大きく減少したことにより販売価格は非常に高騰しましたが、3月以降の価格は落ち着きを見せ始めています(図1)。遅れている春野菜の入荷が安定すれば、需要も伸び、荷動きに期待が持てます。

しかし気温が高くなるため、荷の動きやすい品目とそうでない品目に差ができることも予想され、例えばよくサラダに利用される「にんじん」「レタス」「たまねぎ」は荷動きが良い一方で、鍋や漬物での需要のイメージが強い「だいこん」「はくさい」は動きが鈍い可能性もあります。近年は「だいこん」「はくさい」もサラダの材料として生で利用されることがあり、そういった提案をしっかりとすることが重要なようです。

3月に入って価格が落ち着いたことで、店舗の方も野菜を売り出しやすい環境になってきていますが、野菜の売場が限られる中、品目間で売場確保の競争が始まっており、早期の売り込みや販売提案といった対策が必要と思われます。

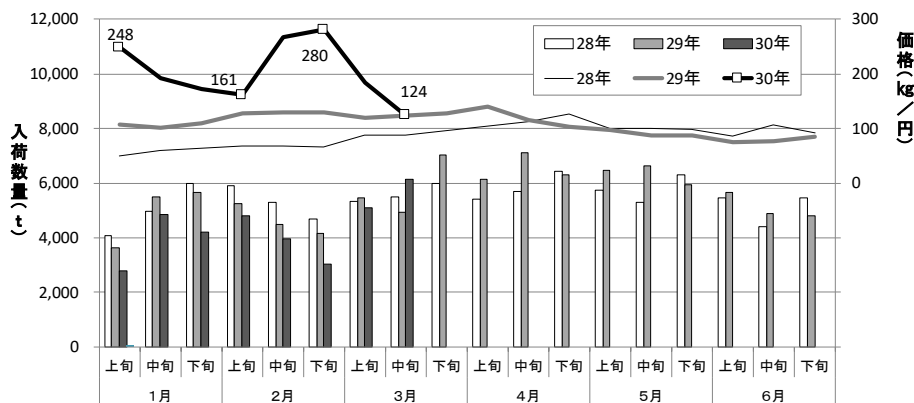


図1 東京都中央卸売市場における年別入荷量及び価格推移 (キャベツ)

3 主な春野菜の入荷見通し

(1) 春キャベツ

入荷量が増加し価格が落ち着いてきたことで、量販店等では今後まとまった量を販売したい要望・動きを見せているようです。生育状況からピークは4月中下旬にずれ込む見込みですが、「先に売っていく」などの先手の対応ができれば、4月もまずまずの結果が出せると思われれます。

(2) 春だいこん

現状は千葉県及び神奈川県産が中心で、4月からは九州産が出てくる予定です。冬場は高値となっていたため、入荷量が増えたときにどのように販売するかが課題です。春のだいこんは店舗側も売り方が難しい商材のようで、攻めの販売が必要のようです。

(3) 春夏にんじん

千葉県産はほぼ終了。現在は徳島県から出ており、ここまで比較的堅調です。しかし、だいこん同様に入荷が増えたときの販売対策が課題となります。市場の各社も売り込みをかけていますが、まだまだこちらから仕掛けていかないと厳しい面もありそうです。

(4) たまねぎ

10～12月は比較的安定した販売となりました。静岡県産はほぼ終了。佐賀県は遅れが見られ、今後は連休直前に入荷増が予想されます。4月中下旬に入荷が増えると、野菜全般の相場が下がることがあり、丁寧な状況把握が必要になりそうです。

(5) 春はくさい

4月中旬頃に入荷のピークとなりそうです。加工では中旬頃まで輸入物を入れるようです。店舗では価格を抑えるための少量カットが中心となるなど、高値続きとなりました。量が増えたときに鍋や漬物以外の需要開拓が必要となりそうです。最近では生でサラダに使われることも多く、そういった提案が必要になるようです。

(6) レタス

年末年始から3月上旬まで加工向けの供給が滞り、かなり切迫した状況が続きました。春野菜のメニューに変わってくる中で、4月も産地間の端境など時期によっては強含みの展開が期待できるかもしれないとのことです。



市場に入荷された春野菜（左：だいこん、右：にんじん）

4 さいごに

総量は別として、4月中旬以降の野菜入荷は急増する気配となっています。これまでの高値反動により価格は下がってきており荷動きは改善されると思われれますが、野菜全体で入荷の集中も起きやすい状況です。品目間の売場の確保の競争が懸念されるため、対策は早期に行うことが肝心と思われれます。

県内外における需要拡大の取組について

食育消費流通課

愛知県では、県産農林水産物の良さを県内外の消費者に一層知っていただき、需要拡大に繋げるために、様々な取組を行っています。今回は、全国トップレベルの品目の更なるブランド力強化や県産農林水産物全体のイメージアップに向けた取組を紹介します。

1 県内での取組について

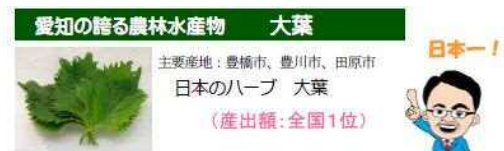
(1) 知事の名刺を使ったPR

知事が使用する名刺に農業産出額が全国上位の県産農林水産物の図案を入れて、県内外にPRを行っています。名刺には「日本一！」や「めざせ日本一！」のキャッチコピーを掲載し、愛知の誇る農林水産物として紹介しています。

知事名刺は2か月ごとに品目を切り替え、平成29年度は、大葉、金魚、ぶどう、植木、キャベツ及び名古屋コーチンの6つの主要品目を紹介しました(表1)。

表1 平成29年度の掲載品目

月	品目
4・5	大葉
6・7	金魚
8・9	ぶどう
10・11	植木
12・1	キャベツ
2・3	名古屋コーチン



知事名刺に貼付したシール

(2) いいともあいちフェア

本県は、平成24年にイオン株式会社と「連携と協力に関する包括協定」を締結しており、その取組の一環として、愛知県産の農産物の販売を中心とした「いいともあいちフェア」を平成29年10月8日にイオンモール岡崎で開催しました。

また、このフェアにおいて、県産農林水産物の需要を一層拡大するために、知事が直接消費者に呼びかけるトップセールスを開催しました。



いいともあいちフェアでのトップセールス

(3) あいちの農林水産フェア

県民の方々に県産農林水産物を進んで消費・利用していただくため、新鮮で、安全・安心な農林水産物や加工食品を広く紹介する「あいちの農林水産フェア」を平成29年11月8日から13日まで名古屋市中区栄の三越で開催しました。会場には6日間で23,000人余りの方が来場されました。

農林水産物や加工食品の販売のほか、日替わりイベントのぬか漬け作りやバター作り、マイ箸作りなどの体験企画、ベジデコサラダ制作の実演、ふるまい餅など、いずれの実演も好評でした。



あいちの農林水産フェアの様子

2 県外での取組について

(1) あいちの農産物トップセールス in 東京

本県から多くの農産物を出荷している首都圏での更なる需要拡大をめざし、平成30年2月4日に東京の量販店サミットストア成城店で「あいちの農産物トップセールス in 東京」を開催しました。

大村知事ほか、JAあいち経済連会長や生産者の代表も参加し、県産農林水産物の魅力を東京の消費者の方々にPRしたほか、フラワーバレンタインにちなんだ愛知県産の花束をプレゼントしました。



東京での知事トップセールス

(2) Eat more Aichi! あいち県産品ブランドフェア

平成30年2月11日、12日に千葉県船橋市のららぽーと東京ベイにおいて、「Eat more Aichi! あいち県産品ブランドフェア」を開催しました。本フェアは、愛知県産品の魅力をPRし、県産農林水産物のブランド力を強化することが目的で、ブランドフェアの開催に合わせ、ららぽーととの飲食店などで愛知の食材を使用した「あいちグルメフェア」も行いました。

【ITALIAN KITCHEN BUONO】



絹姫サーモンの
絶品アヒージョ



絹姫サーモンと
イクラのクリーム
リゾット

【パスターフローラ】



うずらソーセー
ジナポリタン



うずらソーセー
ジとチョリソの
盛り合わせ

【世界の山ちゃん】



絹姫サーモンの
刺身



うずら肉の天ぷら



一色産うなぎの
ひつまぶし



ゆめのかいちごの
デザートボール

【MISO18ヶ月】



絹姫サーモンと3種キノコ
のホイル焼き



味噌煮込み風きしめん

「あいちグルメフェア」での提供メニュー

「FOODEX JAPAN 2018」に出展しました

食育消費流通課

愛知県は、県産農林水産物及びその加工食品の輸出促進を図るため、幕張メッセ（千葉県千葉市）で3月6日（火）から9日（金）まで開催された、国内最大級の国際食品・飲料展「FOODEX JAPAN 2018」に出展して、海外バイヤーとの活発な商談を行いましたのでその概要を紹介します。



愛知県ブース

1 出展事業者及び出展商品

愛知県のブースでは、多くの海外バイヤーが訪れる7ホール「KANPAI JAPAN」エリアに、農林水産部の「食」と産業労働部の「あいちの酒需要拡大促進事業」で取り組む「酒」を併せた連携ブースを設け、一体となって商談やPRに取り組みました。農林水産部からは、県産農林水産物の生産者やその加工食品の事業者が12事業者出展しました（表1）。

表1 出展事業者一覧

No.	出展者名（五十音順）	主な出展商品	所在地
1	飯田農園	トマトジュース、トマトビネガー	名古屋市
2	甘強酒造(株)	西京焼きのたれ、味醂	蟹江町
3	(有)木村農園	金時生姜ジャム、金時矢生姜、金時粉生姜	稲沢市
4	(株)角谷文治郎商店	味醂、梅酒	碧南市
5	(株)タクセイ	胡麻はちみつ、きな粉抹茶、ふりかけ	一宮市
6	豊橋糧食工業(株)	押麦、もち麦シリアル、発芽押麦	豊橋市
7	(株)南山園	西尾の抹茶、お抹茶糖	安城市
8	(資)野田味噌商店	赤味噌、溜	豊田市
9	(株)プロ・スパー	押し寿司、唐揚げ用メヒカリ、深海魚ギフト	蒲郡市
10	(有)まんてん	メヒカリ魚醤、メヒカリ油漬け、メヒカリ唐揚	豊橋市
11	南蔵商店(株)	豆味噌、溜	武豊町
12	農事組合法人レインボー	バラジェル、バラパウダー、はなびら	西尾市

2 商談の様子

(1) 来場者との商談

出展事業者は、会場を見て回るバイヤーに対して積極的にPRして商談の機会を作り、4日間で海外バイヤーと129件の商談を行いました。

(2) 県招聘バイヤーとの商談

本県ブースにおいては、県独自にバイヤー（「食」向けには4社）を招聘してマッチングを実施し、海外販路開拓に向けた商談を33件行いました。

商談では、バイヤーから輸出先国の特徴やニーズについて情報収集するとともに、海外で商品を展開するためには地道なプロモーションが必要なことなどもわかり、輸出に向けたノウハウも取得できる場となりました。

中には、厳しい意見もあったようですが、見積書やサンプルの提供を求められる出展事業者も多く、成約に向けた活発な商談が行われました。

(3) その他の商談

「FOODEX JAPAN 2018」では、主催者が行う事前アポイント商談会やジェトロが主催する商談会も行われており、出展事業者は様々な商談の機会を活用していました。

3 まとめ

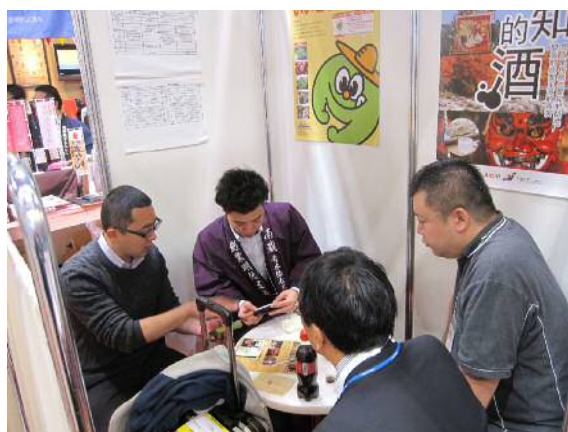
出展事業者からは成果があったという御意見を多くいただき、とても有意義な機会となりました。特に、輸出経験の少ない事業者の方には、商談を通じて、自社商品の海外における強みや、ターゲットとする国・人々がどのようなものであるかといったことなど、バイヤー目線の情報を知っていただく良い機会にもなりました。今回の経験を次の商談に活かしてもらうとともに、販売の成果に繋がるよう今後も支援を行っていきます。



ブースを訪問するバイヤーとの商談



出展者紹介用のチラシ



県招聘バイヤーとの商談

大田市場で3県合同のカラー販売セールスを実施

東京事務所行政課農産物プロモーショングループ

平成30年2月26日（月）に大田市場花き棟において、湿地性カラーの主産県である愛知県、千葉県、熊本県の3県により、カラーの販売促進を目的とした合同キャンペーンが実施されました。

1 大田市場の買参人にPR

本キャンペーンでは、本県海部管内の早尾花き生産組合を始め各県の生産者が大田市場に来場し、(株)大田花き、(株)FAJのセリ場にて、セリ前あいさつを行いました。

3県を代表して千葉県の生産者から「天候不順で出荷が不安定になる時期もあったが、現在の生育は良好。これから春に向けて出荷量が増加するので、純白の花であるカラーを今後ともご愛顧いただきたい」とあいさつがありました。

また、花き棟中央通路では各県のカラーの品種展示が行われ、多くの買参人が足を止めて眺める様子が見られました。



セリ前あいさつの様子

2 産地と市場での情報交換

セリ前あいさつの後は、各県の生産者やJA関係者、卸売業者を交えて生産・販売状況に係る情報交換会が実施されました。

合同キャンペーンでは、“ホワイトデーはカラーを贈る日”として、ホワイトデーの贈答用花束としての使用を提案しており、卸売会社からは「売れている買参人はイベントを探している。こうしたキャンペーンを一緒になって盛り上げてくれる買参人としてしっかり組んで、カラーのPRを進めてほしい」と産地にエールが送られました。



大田市場花き棟での品種展示

この3県合同キャンペーンでは、大田市場以外にも、世田谷市場、板橋市場、北足立市場等を始めとした都内6市場において、カラーの品種展示やセリ前あいさつが行われました。ホワイトデーのプレゼントはもちろん、ブライダルやアレンジメントなど、カラーの利用が拡大することを期待したいと思います。

愛 知 産 青 果 物 の 動 向

「青果物の見通し」及び「花きの見通し」ページにおいて使用する『変動の幅を表す用語』につきましては、下記の基準で記載しております。

前年並 : ± 1 % 台以下
 わずか : ± 2 % 台以内
 や や : ± 3 ~ 5 % 台
 かなり : ± 6 ~ 15 % 台
 大 幅 : ± 1 6 % 以上

○ 名古屋中央卸売市場（品目：チンゲンサイ）

	入 荷 量 (t)	卸 売 価 格 (円/kg)		前年の主な他産地 (上位3産地)	
		うち愛知産	愛知産		
29年実績	1, 117	484 (43%)	328	307	静岡 (48%) 茨城 (8%) 長野 (1%)
30年見通し	1, 100	—	300	—	
概 要 と 見 通 し			卸 売 市 場 から 産 地 へ の 要 望 ・ 提 言 等		
現在作付分の生育状況は、病気も少なく作柄良好。3月中旬から入荷量が増加し、学校休みで給食需要もないことから、他の葉物野菜とともに価格は低迷している。年全体では、各産地ともに作付面積の大きな増減はなく、前年同様の入荷状況になるとみられる。 入荷量は前年並で、価格は前年をかなり下回る見込み。			気温の上昇とともに、黄変などの品質低下が発生しやすい時期に入るため、収穫遅れを避けるとともに、調製・出荷時の品質管理に注意をいただきたい。		

○ 東京都中央卸売市場（さやえんどう）

	入 荷 量 (t)	卸 売 価 格 (円/kg)		前年の主な他産地 (上位3産地)	
		うち愛知産	愛知産		
29年実績	1, 392	357 (26%)	1, 087	1, 179	鹿児島 (20%) 福島 (12%) 中国 (6%)
30年見通し	1, 500	—	1, 000	—	
概 要 と 見 通 し			卸 売 市 場 から 産 地 へ の 要 望 ・ 提 言 等		
愛知産が3割弱を占め、鹿児島、福島の次は中国産となる。愛知を含め各産地とも2月の入荷量は極端に少なく、畑で留まっていた荷が3月の高温により一挙に動き出した。そのため市場では荷が集中し、販売に苦戦する状況が続いている。 入荷量は前年をかなり上回り、価格は前年をかなり下回る見込み。			さやえんどうは、スナップえんどうの影響で需要が少し落ちてはいるが、イベント時に欠かせない人気商材でもあり、作付けを減らさないようお願いしたい。 愛知産の品質は良好なことから、このまま品質を維持し、生産量の確保と安定出荷をお願いしたい。		

名古屋・東京市場における青果物の4月の見通し

名古屋市中央卸売市場

3月15日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%)	
			上旬	中旬	下旬		
野菜計	25年	36,234	230	220	231	234	愛知 26%
	26年	33,159	210	212	208	206	北海道 16%
	27年	32,791	259	242	269	257	鹿児島 10%
	28年	33,834	242	250	246	233	茨城 9%
	29年	32,775	239	253	241	220	徳島 7%
	5ヵ年平均	33,759	236	—	—	—	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	30年見通し	33,000	218	—	—	—	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
愛知、北海道、鹿児島などから入荷する。葉菜や根菜の入荷が低迷していたが、3月の気温上昇により、キャベツやレタスなどで入荷増となった。4月には低温等で遅れていた品目も順次回復する見通し。入荷量、価格ともに前年をわずかに下回る見込み。							
だいこん	25年	2,373	74	74	71	87	千葉 49%
	26年	2,002	82	78	84	89	愛知 39%
	27年	1,980	124	116	131	131	鹿児島 5%
	28年	2,058	108	125	113	94	長崎 3%
	29年	1,733	104	120	102	96	静岡 2%
	5ヵ年平均	2,029	97	101	99	99	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	30年見通し	1,800	120	140	120	100	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
愛知、千葉を中心に鹿児島などから入荷する。愛知は3月で秋冬物が終了し春物が中心となるが、作付けは概ね前年並。低温によりやや生育が遅れているが、徐々に回復することが見込まれる。入荷量は前年をやや上回り、価格は前年をかなり上回る見込み。							
にんじん	25年	2,242	163	191	163	137	徳島 97%
	26年	2,360	133	153	131	119	愛知 1%
	27年	2,238	146	127	161	144	中国 1%
	28年	1,839	174	152	173	192	
	29年	1,896	173	185	187	149	
	5ヵ年平均	2,115	156	161	161	146	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	30年見通し	2,000	170	180	170	160	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
ほぼ全量が徳島からの入荷となる。徳島は天候不順で播種が遅れ、3月現在の入荷量は少ないが、次第に階級がMS中心からLM中心に変わり、増量していく見通し。入荷量は前年をやや上回り、価格は前年並となる見込み。							

注) 「ねぎ」は「こねぎ」を含む。
「なす」は「長なす」と「べいなす」を含む。

東京都中央卸売市場

3月29日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)		
			上旬	中旬	下旬			
野菜計	25年	142,680	213	211	216	茨城	15%	
	26年	136,391	227	230	229	千葉	14%	
	27年	127,933	284	288	295	北海道	8%	
	28年	131,769	267	267	264	神奈川	8%	
	29年	129,544	260	260	245	愛知	8%	
	5ヵ年平均	133,663	249	—	—	前年及び本年の 入荷量・価格の動き		
	30年見通し	133,000	260	—	—			
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>茨城、千葉などの関東産地、北海道、愛知からの入荷が中心となる。入荷量は多くの品目で平年並に回復。3月の入荷増で急落した価格は現在落ち着くも、中旬以降にピークを迎える品目は注意が必要。 入荷量は前年をわずかに上回り、価格は前年並の見込み。</p>						
だいこん	25年	12,197	74	71	65	89	千葉	72%
	26年	12,582	79	67	78	90	神奈川	12%
	27年	11,066	121	110	127	125	茨城	8%
	28年	10,805	104	113	110	91	鹿児島	3%
	29年	11,375	94	108	90	84		
	5ヵ年平均	11,605	94	93	93	95	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
	30年見通し	12,000	90	90	90			
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>千葉を中心に神奈川、茨城からの入荷となる。低温による生育遅れは3月の高温と適度な雨で回復し、高値から一転して安値に。気温が上がりすぎると、需要に陰りも懸念される。サラダ等での需要が鍵か。 入荷量は前年をやや上回り、価格は前年をやや下回る見込み。</p>						
にんじん	25年	8,189	159	179	161	139	徳島	83%
	26年	8,650	131	145	127	123	千葉	5%
	27年	7,726	141	117	150	149	静岡	3%
	28年	7,313	163	134	159	189	北海道	2%
	29年	8,350	168	175	183	148	中国	2%
	5ヵ年平均	8,046	152	151	156	148	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
	30年見通し	8,800	160	180	160	140		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>徳島を中心に千葉、静岡などからの入荷となる。秋の播種が遅れたため、これから入荷が増える。3月は好天と適度な雨に恵まれて生育良好。現状Mサイズ中心ながらも、今後Lサイズの割合も増える見込み。 入荷量は前年をやや上回り、価格は前年をやや下回る見込み。</p>						

名古屋市中央卸売市場

3月15日現在

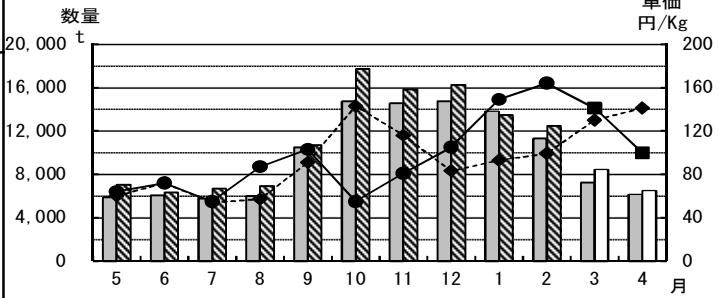
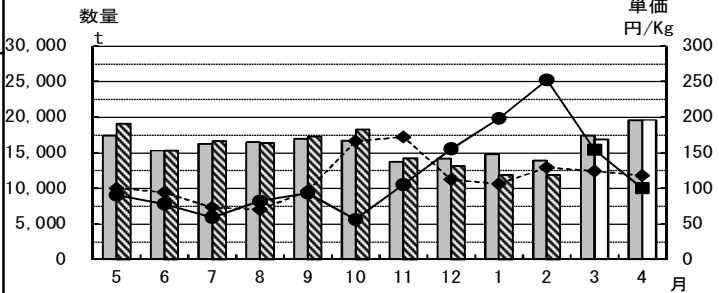
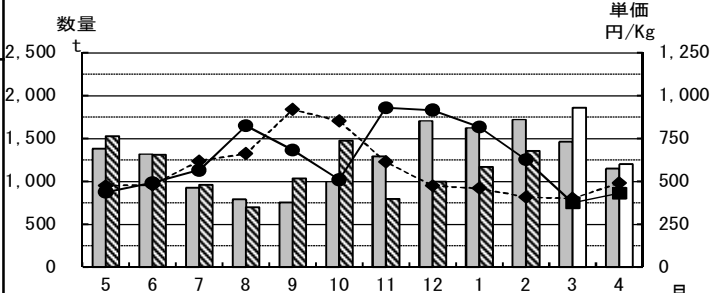
単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)		
			上旬	中旬	下旬			
ほうき	25年	1,802	61	59	54	74	茨城	62%
	26年	2,068	61	64	58	61	愛知	14%
	27年	1,814	130	90	152	153	宮崎	7%
	28年	1,716	101	120	99	92	熊本	7%
	29年	1,676	151	199	156	101	三重	5%
	5ヵ年平均	1,815	99	104	102	95	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
	30年見通し	1,600	100	100	100	100		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し								
茨城を中心に愛知、長崎、三重などから入荷する。愛知の秋冬物は不作だったが、3月はまずまずの入荷状況。茨城の春系は4月10日以降にピークを迎える見通しで、後半には愛知の春物も入荷される。入荷量は前年をやや下回り、価格は高値だった前年を大幅に下回る見込み。								
キャベツ	25年	4,298	95	88	94	109	愛知	92%
	26年	4,222	78	76	81	80	神奈川	4%
	27年	4,112	132	103	135	149	三重	2%
	28年	3,966	109	95	113	123	兵庫	1%
	29年	4,001	109	132	107	101	熊本	1%
	5ヵ年平均	4,120	104	98	106	112	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
	30年見通し	4,000	120	120	120	120		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し								
愛知を中心に入荷する。3月に気温が上昇し肥大が一気に進んでピークを迎えた。4月は品種別では冬のぼりが不作傾向で、ゆいなはずまず。中旬までは数量がありそうだが、その後は少なくなる見通し。入荷量は前年並で、価格は前年をかなり上回る見込み。								
ほうれんそう	25年	265	483	395	527	598	愛知	54%
	26年	259	440	309	552	504	茨城	28%
	27年	242	594	537	600	673	岐阜	12%
	28年	297	504	523	460	549	群馬	3%
	29年	293	471	450	451	552	徳島	1%
	5ヵ年平均	271	497	444	514	573	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
	30年見通し	290	500	450	500	550		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し								
愛知を中心に、下旬からは岐阜、茨城などの関東産も入荷する。愛知は3月に入り気温が上昇し生育が進む。大きな問題もなく、前年並の入荷を見込む。岐阜も前年並で、関東産も順調な見通し。入荷量は前年並で、価格は前年をかなり上回る見込み。								

東京都中央卸売市場

3月29日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
ほうき	25年	6,921	53	61	38	62	茨城 96% 長崎 1%
	26年	6,255	53	65	46	48	
	27年	5,613	128	96	147	145	
	28年	6,028	98	125	95	80	
	29年	6,152	141	192	148	92	
	5ヵ年平均	6,194	93	107	92	84	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	30年見通し	6,500	100	110	110	80	
さい	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	<p>茨城からの入荷がほとんどを占める。前年の価格高騰により作付面積は増加している。これまでの生育遅れも回復し、今後は4玉サイズが中心となる。</p> <p>入荷量は前年をやや上回り、価格は高値となった前年を大幅に下回るが平年以上となる見込み。</p>						
キャベツ	25年	19,193	107	102	109	110	神奈川 44% 愛知 38% 千葉 14% 茨城 3%
	26年	19,117	94	87	103	92	
	27年	18,609	129	113	134	139	
	28年	17,540	115	104	113	126	
	29年	19,569	118	139	115	103	
	5ヵ年平均	18,806	112	109	115	114	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	30年見通し	19,600	100	110	100	90	
べ	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	<p>神奈川、愛知からの入荷が中心となる。冬の低温乾燥による生育遅れと小玉傾向は回復半ば。肥大が進めば入荷も増えるが、前半は天候次第。一方、後半は遅れていたものが重なりピークを迎える見通し。</p> <p>入荷量は潤沢だった前年並で、価格は前年を大幅に下回る見込み。</p>						
ほうれんそう	25年	1,096	551	465	568	642	茨城 39% 群馬 26% 埼玉 14% 千葉 10% 栃木 4%
	26年	1,193	509	417	639	500	
	27年	1,157	609	561	673	604	
	28年	1,269	512	524	482	529	
	29年	1,148	490	488	470	512	
	5ヵ年平均	1,173	534	491	565	556	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	30年見通し	1,200	430	460	430	400	
そ	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	<p>茨城、群馬など関東産地からの入荷が中心となる。急激な気温上昇により、一部で徒長気味となったほか、急いで収穫したことで入荷の集中も見られる。価格が落ち着き、引き合いも出てくる見通し。</p> <p>入荷量は前年をやや上回り、価格は前年をかなり下回る見込み。</p>						

名古屋市中央卸売市場

3月15日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
ねぎ	25年	789	286	262	304	336	大分 23%
	26年	708	330	323	339	365	愛知 18%
	27年	707	393	317	449	449	鳥取 15%
	28年	666	441	404	466	480	静岡 10%
	29年	660	411	404	427	415	群馬 7%
	5ヵ年平均	706	369	339	394	406	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	30年見通し	650	400	400	400	400	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>白ねぎは大分、鳥取、静岡などから入荷する。鳥取や静岡はピーク時の入荷がやや少ない予想。九州産も気温上昇に伴う品質低下で終了が早まる可能性あり。愛知のねぎは前年並だが、平年より少ないか。入荷量は前年並だが平年よりも少なく、価格は前年をわずかに下回る見込み。</p>					
レタ	25年	1,649	235	196	245	272	茨城 47%
	26年	1,877	189	151	193	228	兵庫 40%
	27年	1,954	287	249	306	309	愛知 4%
	28年	1,883	219	241	228	195	長野 3%
	29年	1,795	204	232	193	194	熊本 2%
	5ヵ年平均	1,832	227	214	234	240	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	30年見通し	1,800	195	200	190	190	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>兵庫、茨城を中心に入荷する。両産地ともに安定した入荷を見込むが、春先の天候不順の影響による秀品率の低下や凍害の発生もみられる。愛知では春レタスが出始める時期となる。入荷量は前年並で、価格は前年をやや下回る見込み。</p>					
きゅうり	25年	1,735	230	255	252	200	愛知 50%
	26年	1,608	248	244	254	254	宮崎 14%
	27年	1,377	359	289	548	319	群馬 13%
	28年	1,560	263	265	285	256	高知 12%
	29年	1,430	276	261	286	282	長野 5%
	5ヵ年平均	1,542	272	262	318	259	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	30年見通し	1,450	266	260	280	260	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>愛知を中心に宮崎、群馬、高知などから入荷する。愛知は日照時間も延び順調な入荷。大きな病害虫発生もなく、4月も同じ状況が続くとみられる。他産地も順調で、安定した入荷を見込む。価格も値頃感が出ており、荷動きが活発化している。入荷量は前年並で、価格は前年をやや下回る見込み。</p>					

東京都中央卸売市場

3月29日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
ねぎ	25年	4,301	223	228	192	261	千葉 41%
	26年	4,051	243	242	228	258	埼玉 22%
	27年	3,689	329	260	384	344	茨城 11%
	28年	4,176	427	378	423	473	栃木 6%
	29年	4,146	363	361	370	356	群馬 5%
	5ヵ年平均	4,073	317	294	318	338	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	30年見通し	4,100	330	340	340	310	
ねぎ	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	<p>千葉、埼玉など関東産地からの入荷が中心となる。全体的に冬の低温乾燥の影響が若干残るが、回復基調となる。病虫害は少なく、今後も安定した入荷が期待できる。入荷量は前年並で、価格は前年をかなり下回る見込み。</p>						
し	25年	7,411	205	173	205	243	茨城 60%
	26年	6,280	163	144	187	212	兵庫 13%
	27年	7,449	281	247	297	303	香川 6%
	28年	7,991	213	246	220	180	栃木 5%
	29年	7,381	192	220	182	174	福岡 4%
	5ヵ年平均	7,302	212	209	219	222	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	30年見通し	7,400	180	180	190	170	
し	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	<p>茨城を中心に兵庫、群馬などからの入荷となる。前半は降雪の影響が残る茨城からの入荷の減少が懸念されるが、後半からは例年より生育が早まりそうな高冷地からの出荷が始まり、価格は下げ基調に転ずる。入荷量は前年並で、価格は前年をかなり下回る見込み。</p>						
きゅう	25年	7,384	262	313	264	217	群馬 27%
	26年	7,024	282	286	284	278	埼玉 26%
	27年	6,594	365	313	506	316	千葉 13%
	28年	7,764	263	261	280	251	茨城 12%
	29年	6,913	279	273	286	174	宮崎 11%
	5ヵ年平均	7,136	288	289	320	246	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	30年見通し	6,700	260	270	260	250	
きゅう	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	<p>群馬、埼玉などの関東産地を中心に宮崎からも入荷する。多くの産地が平年並の出荷を見込む。目立った病害もなく、後半からはピークを迎える産地も多くなる。入荷量は前年をやや下回り、価格は前年をかなり下回る見込み。</p>						

名古屋市中央卸売市場

3月15日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
な す	25年	867	307	305	318	301	熊本 49%
	26年	917	296	295	293	299	愛知 44%
	27年	698	399	364	411	423	高知 5%
	28年	785	378	384	384	372	宮崎 2%
	29年	667	367	362	374	369	
	5ヵ年平均	787	345	339	351	348	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	30年見通し	750	350	370	350	340	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>愛知の千両、熊本の長なすを中心に入荷する。日照時間と気温の上昇に伴い、数量も増加する。愛知は成り疲れて3月前半はやや少ないが、4月は順調な入荷見通し。熊本は関東向けの出荷が増え、中京圏への影響は少ないか。入荷量は前年をかなり上回り、価格は前年をやや下回る見込み。</p>					
ト マ	25年	1,467	360	402	390	307	熊本 54%
	26年	1,451	333	333	336	331	愛知 21%
	27年	1,368	430	440	423	429	三重 11%
	28年	1,466	390	432	416	342	岐阜 11%
	29年	1,540	313	338	326	282	高知 1%
	5ヵ年平均	1,458	364	388	377	336	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	30年見通し	1,500	290	300	300	280	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>熊本を中心に愛知、三重、岐阜などから入荷する。各産地とも作柄は良好。やや小玉傾向で大きなピークこそないとみられるが、順調な入荷を見込む。入荷量は前年をわずかに下回り、価格は前年をかなり下回る見込み。</p>					
ミ マ ト	25年	470	626	677	641	544	熊本 53%
	26年	454	579	582	565	569	愛知 33%
	27年	469	706	704	703	700	和歌山 7%
	28年	503	744	790	807	666	宮崎 6%
	29年	529	620	668	632	574	
	5ヵ年平均	485	656	686	671	611	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	30年見通し	510	580	600	600	550	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>熊本、愛知を中心に和歌山、宮崎からも入荷する。熊本は冬の冷え込みが強かったが、日照は多く豊作基調。愛知も3月現在順調な入荷が続いており、4月も同じ傾向となる見通し。入荷量は前年をやや下回るが平年よりも多く、価格は前年をかなり下回る見込み。</p>					

東京都中央卸売市場

3月29日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)		
			上旬	中旬	下旬			
な	25年	3,494	367	377	358	高知	57%	
	26年	3,544	366	363	405	福岡	16%	
	27年	2,929	480	414	582	熊本	7%	
	28年	3,730	418	426	409	群馬	6%	
	29年	3,336	438	434	445	佐賀	4%	
	5ヵ年平均	3,407	411	397	430	前年及び本年の 入荷量・価格の動き		
	30年見通し	3,400	430	440	420	430		
す	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
	<p>高知を中心に福岡などの九州産地、群馬からの入荷となる。曇雨天による樹勢低下からの回復が進む。現状では特に大きな問題はなく、作柄は安定している。 入荷量は前年をわずかに上回り、価格は前年並の見込み。</p>							
ト	25年	7,866	375	421	401	317	熊本	31%
	26年	7,623	361	360	366	357	栃木	24%
	27年	6,884	454	463	447	450	愛知	9%
	28年	7,845	403	446	421	364	千葉	7%
	29年	8,169	336	373	344	295	茨城	5%
	5ヵ年平均	7,677	384	411	394	354	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
	30年見通し	8,400	340	350	350	320		
マ	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
	<p>熊本、栃木、愛知、千葉からの入荷が中心となる。3月下旬時点では越冬型を中心に小玉や生育停滞が見受けられたが、4月は全体を通して安定入荷となる見込み。特に後半は入荷のピークがくるとみられる。 入荷量は前年をわずかに上回り、価格は前年並かわずかに上回る見込み。</p>							
ニ	25年	1,918	583	629	617	507	熊本	40%
	26年	1,849	558	573	561	544	愛知	19%
	27年	1,791	691	683	696	696	宮崎	14%
	28年	2,101	676	716	741	612	千葉	9%
	29年	2,075	565	616	576	511	静岡	7%
	5ヵ年平均	1,947	614	644	639	572	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
	30年見通し	2,100	560	600	560	520		
ト	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
	<p>熊本、愛知、宮崎からの入荷が中心となる。気温上昇とともに入荷量が増加しており、作付面積も増えていることから、4月は潤沢な入荷となる見通し。生育も順調。 入荷量と価格はともに前年並だが、平年より入荷量はかなり多く、価格は下がる見込み。</p>							

名古屋市中央卸売市場

3月15日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
ピーマン	25年	675	335	328	360	373	鹿児島 40%
	26年	669	314	355	332	340	宮崎 36%
	27年	598	524	544	537	598	高知 12%
	28年	679	407	424	412	431	茨城 11%
	29年	667	382	367	382	413	
	5ヵ年平均	657	390	401	402	427	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	30年見通し	680	413	420	400	420	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>鹿児島、宮崎などの西南暖地が中心となる。生育状況は順調で、日照時間と気温の上昇とともに数量は増加する見通し。また、4月からは茨城からの入荷も始まり、徐々に茨城産の割合が増加していく。入荷量は前年並で、価格は前年をかなり上回る見込み。</p>					
ばれいしょ	25年	3,209	115	128	126	101	鹿児島 77%
	26年	3,022	142	138	142	149	北海道 19%
	27年	2,693	246	207	260	274	長崎 3%
	28年	2,642	268	274	287	256	
	29年	3,357	223	233	225	217	
	5ヵ年平均	2,985	195	194	204	195	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	30年見通し	3,400	120	120	120	120	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>鹿児島、北海道中心の入荷となる。鹿児島は離島物がピークを迎え、階級は2L～Lの大玉傾向。北海道の貯蔵物は徐々に減少するが、残量はある。ここ数年と比較して、価格は苦戦するとみられる。入荷量は前年並だが平年より多く、価格は前年を大幅に下回る見込み。</p>					
たまねぎ	25年	6,487	72	88	76	70	北海道 72%
	26年	4,090	134	149	132	122	愛知 24%
	27年	5,239	101	98	107	92	静岡 1%
	28年	6,353	75	82	81	73	熊本 1%
	29年	6,164	102	118	113	87	宮崎 1%
	5ヵ年平均	5,667	94	104	99	86	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	30年見通し	6,200	100	100	100	100	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>北海道、愛知中心の入荷となる。北海道はL大中心の安定した入荷を見込む。愛知は10月の台風被害とその後の低温乾燥により3月までの早い作型は不作だった。4月はある程度回復していくが、量の少なかった前年並の入荷となるか。入荷量と価格はともに前年並の見込み。</p>					

東京都中央卸売市場

3月29日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
ピーマン	25年	2,198	411	391	400	442	茨城 59%
	26年	2,353	379	395	364	378	宮崎 19%
	27年	1,985	593	565	577	635	高知 14%
	28年	2,330	455	470	445	454	鹿児島 7%
	29年	2,235	427	416	421	446	
	5ヵ年平均	2,220	449	445	438	466	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	30年見通し	2,200	430	440	430	420	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>茨城を中心に、宮崎や高知など西南暖地からも入荷する。3月に好天が続き、茨城の春作、西南暖地ともに生育遅れは回復傾向。茨城、高知では4月中下旬にピークを迎える産地あり。 入荷量と価格はともに前年並となる。</p>					
ばれいしょ	25年	10,573	101	101	104	96	鹿児島 58%
	26年	9,700	133	126	128	142	北海道 37%
	27年	8,037	201	177	206	218	長崎 5%
	28年	7,876	238	243	246	227	
	29年	8,751	223	229	229	209	
	5ヵ年平均	8,987	174	170	177	173	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	30年見通し	8,600	110	120	110	100	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>鹿児島からの入荷が本格化し、北海道は終盤となる。北海道の貯蔵物は小玉傾向で、4月に入るとほぼ終了。引き継ぐ鹿児島は各産地がピークとなる。入荷量は確保されるが産地により大きさに差がある。 入荷量は前年並で、価格は高騰した前年を大幅に下回る見込み。</p>					
たまねぎ	25年	17,027	71	86	70	61	北海道 57%
	26年	13,416	125	144	122	116	佐賀 32%
	27年	14,348	113	104	113	120	長崎 4%
	28年	14,423	87	85	90	86	中国 2%
	29年	12,151	131	136	134	124	熊本 2%
	5ヵ年平均	14,273	103	109	103	99	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	30年見通し	13,500	100	110	100	90	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>北海道の貯蔵物が終盤となり、佐賀の新たなたまねぎの入荷が本格化する。北海道からの入荷量は確保され、L大中心での入荷が続く。佐賀は潤沢な入荷を見込むがやや小ぶりとなるか。 入荷量は前年をかなり上回り、価格は前年を大幅に下回る見込み。</p>					

名古屋市中央卸売市場

3月13日現在

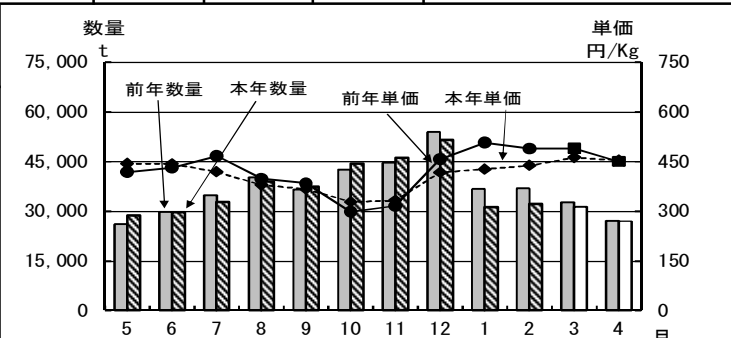
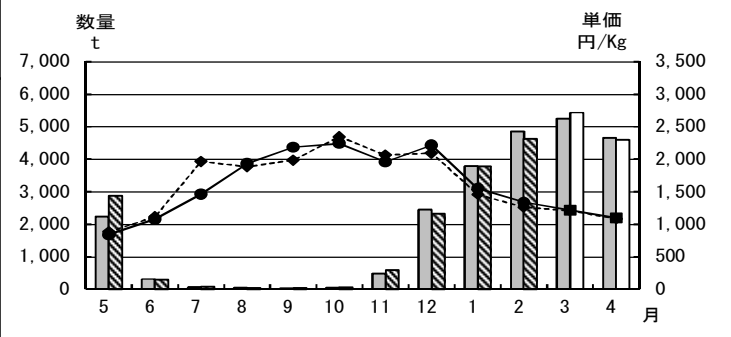
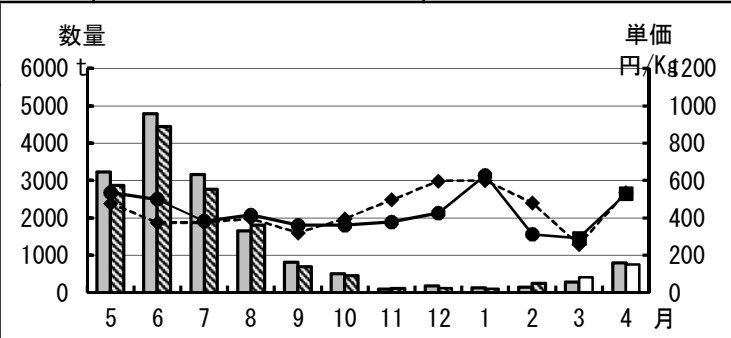
単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)		
			上旬	中旬	下旬			
果	25年	8,811	335	325	339	青森	22%	
	26年	8,812	355	359	379	フィリピン	17%	
	27年	7,427	382	381	421	熊本	17%	
	28年	6,792	454	425	426	愛知	9%	
	29年	6,507	413	403	412	三重	8%	
	5カ年平均	7,670	385	—	—	前年及び本年の 入荷量・価格の動き		
	30年見通し	6,500	420	—	—			
実計	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
	<p>品目はいちご、かんきつ類、りんごなどが中心となる。いちごは順調な入荷を見込むが、りんごは果実が品薄な冬時期の引き合いが強かったため在庫は少ない。メロン、すいかは冬場の低温により若干遅れており、4月の入荷はやや少ないか。入荷量と価格はともに前年並を見込む。</p>							
いちご	25年	1,034	885	864	899	901	愛知	57%
	26年	966	862	773	899	953	熊本	24%
	27年	833	965	891	1,000	1,053	鹿児島	6%
	28年	956	910	900	865	964	佐賀	5%
	29年	824	1,054	1,115	1,039	1,011	三重	3%
	5カ年平均	923	930	902	935	972	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
	30年見通し	900	950	—	—	—		
いちご	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
	<p>愛知を中心に熊本などからも入荷する。病気の発生も少なく、生育状況は概ね良好。2月まで低温が続いていたが、3月に入って気温が上昇するとともに入荷量が増加。4月も順調な入荷を見込む。入荷量は前年をかなり上回り、価格は前年をかなり下回る見込み。</p>							
その他メロン(アールスメロンを除く)	25年	506	291	207	280	374	メキシコ	54%
	26年	571	272	186	226	370	熊本	36%
	27年	319	350	233	428	428	鹿児島	7%
	28年	262	396	327	326	432	長崎	1%
	29年	327	321	193	339	441	高知	1%
	5カ年平均	397	314	219	304	400	前年及び本年の 入荷量・価格の動き	
	30年見通し	290	340	—	—	—		
その他メロン(アールスメロンを除く)	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
	<p>メキシコ、熊本を中心に入荷する。生育は遅れ気味で4月入荷分が5月にずれ込む可能性がある。前年に比べてやや高値を見込むが、3月の現時点では輸入物が安値推移しており、足を引っ張る懸念もある。入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年をやや上回る見込み。</p>							

東京都中央卸売市場

3月29日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
果	25年	30,303	361	365	359	360	青森 22%
	26年	28,649	400	397	397	405	熊本 14%
	27年	27,804	427	434	415	433	愛媛 12%
	28年	26,543	477	472	474	487	フィリピン 9%
	29年	27,127	454	490	448	422	栃木 7%
	5カ年平均	28,085	422	—	—	—	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
30年見通し	27,000	450	—	—	—		
実計	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	<p>かんきつ類、いちご、りんごを中心に、すいかやメロンなどの施設果樹が入荷してくる。半ばからはハウスみかんの入荷も始まる。すいかは低温と曇天により入荷量は伸び悩んでいるが、中旬頃から回復してくる見込み。 入荷量、価格ともに前年並の見込み。</p>						
いちご	25年	4,426	893	888	915	870	栃木 42%
	26年	4,288	913	851	941	969	福岡 20%
	27年	4,092	956	929	946	1,008	佐賀 10%
	28年	4,930	949	923	979	948	茨城 9%
	29年	4,654	1,082	1,192	1,049	962	静岡 8%
	5カ年平均	4,478	960	959	968	950	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
30年見通し	4,600	1,100	1,150	1,100	1,000		
いちご	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	<p>栃木を中心に福岡、佐賀などの各地から入荷する。栃木は曇雨天の影響で入荷量は少なかったが、上旬頃には解消して中旬に入荷ピークを迎える。福岡は中旬まで出荷量が多い状況が、佐賀は出荷量が少ない状況が続く見込み。 入荷量、価格ともに前年並の見込み。</p>						
その他メロン (アールスメロンを除く)	25年	798	495	438	544	480	茨城 46%
	26年	751	541	508	537	548	熊本 32%
	27年	623	622	606	605	636	メキシコ 16%
	28年	766	583	605	542	635	ホンジュラス 2%
	29年	797	535	518	539	530	宮崎 2%
	5カ年平均	747	552	552	557	584	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
30年見通し	750	530	530	530	530		
その他メロン (アールスメロンを除く)	産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し						
	<p>熊本からアンデス、クインシー、茨城からオトメメロンが入荷する。熊本、茨城ともに冷え込みの影響で生育遅れが見られる。また熊本のアンデスでは高齢化により栽培面積が減少しており、入荷量は前年を下回る見込み。 入荷量は前年をやや下回り、価格は前年並となる見込み。</p>						

切花・鉢花の4月の見通し

切花（愛知名港花き地方卸売市場 3月31日現在）

単位：千本、円／本

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
輪 ぎ	実績	25年	1,813	44	
		26年	1,799	45	
		27年	1,510	51	
		28年	1,677	55	
		29年	1,628	34	
	5ヶ年平均		1,685	46	
	30年見通し		1,630	40	
概要	愛知、三重、沖縄を中心に入荷する。前半はほぼ平年並で、後半は年末収穫後に定植した物が出始め増加する。業務中心の動きで相場展開する見込み。				
小 ぎ	実績	25年	1,154	31	
		26年	1,253	24	
		27年	1,160	31	
		28年	1,227	34	
		29年	1,104	19	
	5ヶ年平均		1,180	28	
	30年見通し		1,100	20	
概要	沖縄を中心に入荷する。彼岸からの低迷が続く、一部出荷調整もあり上位等級が中心に入荷される。市場への入荷は月初めは少なめに推移すると思われる。価格が安定してくれば平年並の入荷となる見込み。				
カー ネ ー シ ョ ン	実績	25年	1,189	41	
		26年	1,368	34	
		27年	1,205	49	
		28年	1,237	50	
		29年	1,172	34	
	5ヶ年平均		1,234	42	
	30年見通し		1,200	35	
概要	愛知、長野、和歌山を中心に入荷する。今年は2月まで生育に抑制がかかり、彼岸辺りから一気に出荷増となった。4月の前半は苦戦するが、後半は数量も落ち着き価格は平年並になるとと思われる。				
か す み	実績	25年	214	78	
		26年	225	60	
		27年	235	74	
		28年	230	75	
		29年	196	60	
	5ヶ年平均		220	70	
	30年見通し		245	65	
概要	高知、和歌山、熊本からの安定した入荷となる。一般需要も前半までであるが、中旬以降は厳しい販売となる見込み。				

単位：千本、円／本

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
ゆ り	実績	25年	337	186	
		26年	302	162	
		27年	324	172	
		28年	289	191	
		29年	262	163	
	5ヶ年平均		303	175	
	30年見通し		280	165	
概要	<p>オリエンタルは高知、埼玉、宮崎、県内近郊から入荷する。3月までに比べるとやや多い入荷見通しで厳しい販売となる。LAも同様に順調な入荷を見込み、入荷量次第では厳しい販売となる。鉄砲はやや少ない入荷。業務中心の販売で相場は安定する。</p>				
洋 らん	実績	25年	408	84	
		26年	402	79	
		27年	411	85	
		28年	420	82	
		29年	377	72	
	5ヶ年平均		404	81	
	30年見通し		400	75	
概要	<p>愛知、徳島、静岡、鹿児島などのほか、輸入物が入荷する。例年に比べて出荷が遅れていた物が、気候の緩みによって増量する見通し。今まで高値で推移していた分、苦しい展開となる見込み。</p>				
ば ら	実績	25年	869	79	
		26年	879	68	
		27年	752	87	
		28年	864	66	
		29年	750	63	
	5ヶ年平均		823	72	
	30年見通し		750	65	
概要	<p>愛知、岐阜、三重、和歌山を中心に入荷する。気温が上がるとともに輸入物の入荷は減少するが、国内産の入荷量は増加し、販売としては厳しくなる見込み。</p>				
枝 も の	実績	25年	1,136	45	
		26年	1,607	42	
		27年	1,558	48	
		28年	1,540	49	
		29年	1,405	47	
	5ヶ年平均		1,449	46	
	30年見通し		1,400	48	
概要	<p>長野、静岡、岐阜を中心に入荷する。前半は歓送迎会等もあるが、引き合いはやや弱めか。ユーカリ等は需要も多く、引き合い強め。少なかった葉物も後半は多くなり、弱含みの展開となる。</p>				

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
カラ	実績	25年	41,367	406	
		26年	32,258	432	
		27年	37,944	455	
		28年	34,437	488	
		29年	11,959	536	
	5ヶ年平均	31,593	451		
	30年見通し	12,000	533		
概要	<p>入荷量は前年並か。前年同様に母の日の遅く、入荷ピークが5月前半となる影響を受ける。価格低迷により今年も作付けが減少している。価格面は競売では5号鉢で600～800円の相場となり、入荷は注文中心で、競売が品薄になる見込み。連休前には引き合いが強くなるとみられる。前年4月の主要県の入荷実績は金額ベースのシェアで1位長野（46.8%）、2位埼玉（35.6%）、3位愛知（9.1%）となっている。</p>				
ファレノ	実績	25年	47,419	2,767	
		26年	41,605	2,704	
		27年	50,298	3,058	
		28年	43,016	2,897	
		29年	27,799	3,365	
	5ヶ年平均	42,027	2,930		
	30年見通し	27,000	3,333		
概要	<p>入荷量は前年より減少か。前年秋から冬にかけての低温で開花が遅れており、3月末～4月上旬の入荷が減少する見込み。中旬から下旬にかけては開花が遅れた分、入荷は増える予想。前年4月の主要県の入荷実績は金額ベースのシェアで1位愛知（54.4%）、2位静岡（7.0%）、3位宮崎（6.0%）となっている。</p>				
バラ及びミニバラ	実績	25年	84,312	246	
		26年	75,733	240	
		27年	79,440	304	
		28年	89,611	249	
		29年	61,740	182	
	5ヶ年平均	78,167	247		
	30年見通し	61,000	184		
概要	<p>入荷量は前年並か。前年同様に母の日の遅い年回りなので、例年より入荷は少ない見込み。価格面も無理な仕入れをせず必要に応じて補充する傾向が強いため、安値～中値で推移する見込み。前年4月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位愛知（49.9%）、2位岐阜（35.9%）、3位愛媛（6.6%）となっている。</p>				

単位：鉢、円／鉢

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
ハイドランジア	実績	25年	176,013	652	
		26年	166,426	688	
		27年	204,879	744	
		28年	217,051	764	
		29年	121,784	696	
	5ヶ年平均		177,231	714	
	30年見通し		130,000	692	
概要	<p>入荷量は前年より増加か。今後の天候により早期出荷分のずれ込みもあると思われる。5号が中心の入荷だが、4号やポット出荷も増加傾向となる見込み。 前年4月の主要県の入荷実績は金額ベースのシェアで1位愛知(70.8%)、2位群馬(8.8%)、3位茨城(4.5%)となっている。</p>				
スパティフィラム	実績	25年	23,626	456	
		26年	28,609	393	
		27年	28,370	291	
		28年	24,439	357	
		29年	17,402	432	
	5ヶ年平均		24,489	380	
	30年見通し		17,000	435	
概要	<p>入荷量は前年並か。特に3号メインの入荷が増える見込み。3月中旬以降は相場が落ち着く予想で、気温の安定に伴い入荷量はさらに増加するとみられる。5号～6号の相場は厳しい予想だが、花上がりが重要になるため、できるだけ花上がりが良い物を入荷させて高値販売に繋げたい。 前年4月の主要県の入荷実績は金額ベースのシェアで1位三重(30.0%)、2位福岡(25.4%)、3位愛知(21.2%)となっている。</p>				
カーネーション	実績	25年	75,728	329	
		26年	91,690	307	
		27年	166,101	370	
		28年	202,439	392	
		29年	40,834	276	
	5ヶ年平均		115,358	356	
	30年見通し		38,000	263	
概要	<p>入荷量は前年より減少か。今年も母の日の日が遅いが、4月下旬でもほとんど競売になる可能性が高く、価格面も厳しいと予想される。 前年4月の主要県の入荷実績は金額ベースのシェアで1位愛知(27.0%)、2位埼玉(13.8%)、3位茨城(12.9%)となっている。</p>				



いいともあいち運動って知ってる??

- 県内の消費者と生産者が今まで以上にいい友関係になる
- Eat more Aichi products (イート モア アイチ プロダクツ)

＝もっと愛知県産品を食べよう（利用しよう）

愛知県の農林水産業の振興や農山漁村の活性化を通じて県民全体の暮らしの向上を図るため、県民の方々に「愛知県農林水産業の応援団」になってもらい、消費者と生産者が一緒になって愛知県の農林水産業を支えているという「運動」です。

県民の方々に愛知県産農林水産物をもっと利用していただきたいという、「愛知県版地産地消の取組」でもあります。

あいち農産物生産流通レポート No.538
平成30年4月発行
農林水産部食育消費流通課
〒460-8501
名古屋市中区三の丸三丁目1番2号
電話 (052) 954-6434